

阿武隈川でブラックバス類^{注)}が増加しています!!

○ 国土交通省 福島河川国道事務所が行った「河川水辺の国勢調査」の結果、平成2年の初確認以降、急速に分布域を拡大し、生息数も増加していることがわかりました。

注) ブラックバス類(オオクチバス・コクチバス・ブルーギル)は、特定外来生物被害防止法によって、**特定外来生物**に指定されており、在来生態系の破壊や水産資源への影響が懸念される生物です。



オオクチバス *Micropterus salmoides*
止水域を好む。主に全国の湖沼やダム湖から確認が報告されており、近年は河川でも増加している。



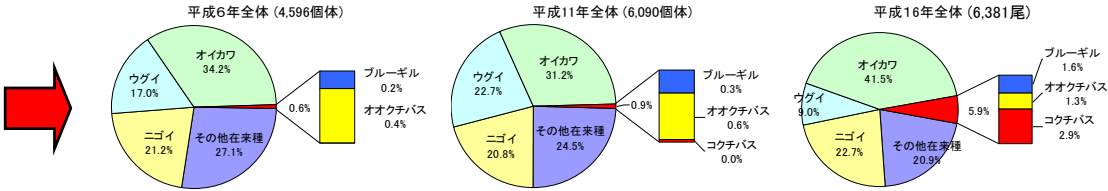
コクチバス *Micropterus dolomieu*
オオクチバスよりも水温の低いところを好み、流れのあるところにも生息する。近年急速に河川への分布を広げており、既に阿賀野川水系、利根川水系でも報告(国勢調査)されている。



ブルーギル *Lepomis macrochirus*
湖沼や河川の岸際の流れの緩やかな水草帯を好む。主に全国の湖沼やため池などから報告

●ブラックバス類は、平成2年に伊達崎付近で始めて確認(国勢調査)されて以降、5年間でほぼ全域に出現し、その後も増加を続けています。

●特に平成11年から16年にかけては、コクチバスが著しい増加傾向を示しており、在来魚への影響が懸念されます。



○ 福島河川国道事務所では、これらの調査結果を重く受け止め、平成17年度から「**外来魚生息実態調査**」を実施しています。

- ・その結果、成魚だけでなく、幼稚魚も多く確認され、阿武隈川の各所に定着し、再生産を行っていることが把握されました。
- ・生まれた幼稚魚は初夏から盛夏期にかけて河川内に広く分散し、流れの強いところまで勢力を拡大します。
- ・特に確認個体数が多かった福島市周辺は、天然アユが遡上・摂餌をする範囲とも重複することから、アユ資源や遊漁への影響も懸念されます。



捕獲されたブラックバス類:成魚から幼稚魚までが出現する

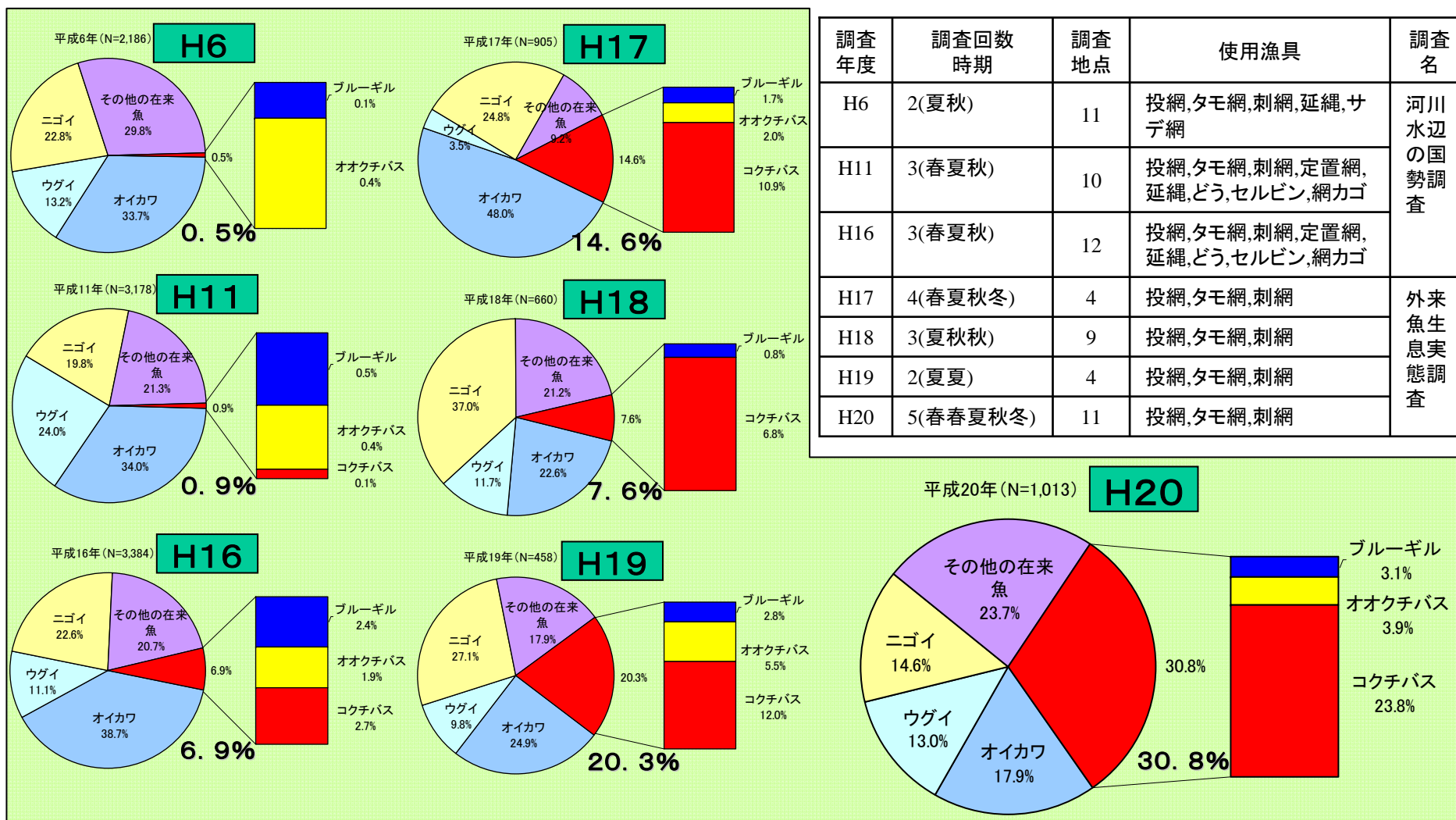


コクチバスの消化管から出てきたアユ

阿武隈川でブラックバス類は年々増加しています。

※St1(伊達橋)、St2(荒川合流)、St3(油井川合流)、St4(金山橋)における経年データを使用

平成6年度以降、ブラックバス類は年々増加しています。今年度調査結果も含め、全採捕個体に占めるブラックバス類の割合は毎年数%づつ上昇しており、着実な増加傾向を示しています。



H16から外来魚対応連絡会を設置し、外来魚問題への取り組みを実施しています。

【「外来魚対応連絡会の開催経緯」】

- ・ H16. 10. 14 : 第1回連絡会
- ・ H17. 9. 12 : 第2回連絡会
[H17. 10. 1-11. 30 アンケート調査実施]
- ・ H18. 3. 16 : 第3回連絡会
- ・ H19. 3. 9 : 第4回連絡会
[H19. 5. 26 外来魚駆除の釣り大会 (福島地区)]
- ・ H20. 3. 18 : 第5回連絡会
[H20. 5. 26 外来魚駆除対策「研修会」]
[H20. 5. 31 外来魚学習会・釣り大会【第1弾】 (福島地区)]
[H20. 7. 12 外来魚学習会・釣り大会【第2弾】 (浜尾地区)]
[H20. 10. 13 外来魚学習会・釣り大会【第3弾】 (三春ダム)] ※共催
- ・ H21. 3. 11 : 第6回連絡会
[H21. 6. 8 外来魚駆除対策「研修会」]
[H21. 6. 13 外来魚学習会・釣り大会【第1弾】 (福島地区)]
[H21. 7. 25 外来魚学習会・釣り大会【第2弾】 (郡山地区)]
[H21. 9. 26 外来魚学習会・釣り大会【第3弾】 (三春ダム)]



外来魚対応連絡会とは、

“阿武隈川河川整備計画”でも位置づけ

外来魚の増加への対応としては、流域の漁業関係者、県水産部局等と連携し、阿武隈川の豊かな生態系の維持保全の観点から外来魚の生息実態の把握に努めるとともに、河川利用者のモラルと意識の向上を図るための広報活動や、外来魚問題への対処方法を検討するための連絡会を設置しました。

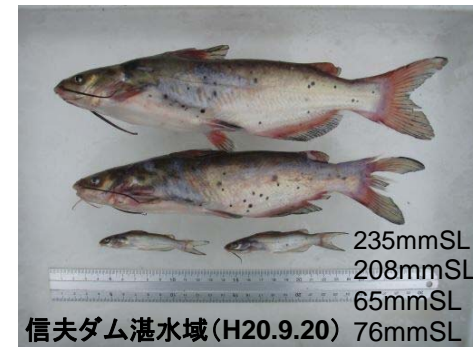
Topics チャネルキャットフィッシュについて

これまで記録の無かった信夫ダム周辺でチャネルキャットフィッシュが確認された。

採捕年月日	採捕場所	採捕方法	個体数	体長	備考
H20年5月25日	信夫ダム上流湛水域	三枚網一昼夜設置	1個体	440mmSL	
H20年6月23日	信夫ダム上流湛水域	三枚網一昼夜設置	1個体	374mmSL	♂ アメリカザリガニ捕食
H20年8月16日	信夫ダム下流右岸淵	三枚網一昼夜設置	1個体	456mmSL	※場所は、平成18年にバス類産卵場調査と一緒にいった箇所
H20年8月17日	信夫ダム上流湛水域	三枚網一昼夜設置	5個体	53mmSL	※当歳魚
				490mmSL	♀ アメリカザリガニ・バッタ類捕食
				490mmSL	♀ バッタ類捕食
				475mmSL	♂ 魚類（コイ目）捕食
				455mmSL	♀ 空胃
H20年9月20日	信夫ダム上流湛水域	三枚網一昼夜設置	4個体	65mmSL	※当歳魚
				76mmSL	※当歳魚
				235mmSL	
				208mmSL	



信夫ダム湛水域(H20.8.17)



信夫ダム湛水域(H20.9.20)